

生け花・和菓子 男児に人気!?



ボランティア最前線

花山小「日本文化体験教室」

花山小学校（北区）で12月5日に開催された「チャレンジ日本」の体験教室。着付け・生け花・和菓子・大正琴・銭太鼓のどれか一つを自分で選択します。どの教室を覗いても伝統的な日本文化に初めてトライする6年生の子ども達の真剣な姿がありました。先生役の各サークルスタッフも緊張気味です。

長い裾と帯を持って余して、一時はどうなることかと思った着付けグループ。14人の児童は、2人のスタッフの丁寧なリードでかわいらしい着物姿に変身していきます。みんな晴れ姿がうれしそう。給食室や職員室へアピールに出掛けていました。着物や帯のたたみ方も習得。これでヤマトナデシコのたしなみもと思いきや、終わりの集会で、男子の向こうず



ねを思い切り蹴飛ばしている女子もいて、ナデシコジャパンの方が健在？のようです。

生け花グループの半数は男子です。スタッフの一通りの説明の後、恐る恐る生け始めましたが、友達同士で評価し合い、素敵な作品に仕上がっていました。家に



持ち帰り再度挑戦すればお母さんもびっくりでしょう。花山小学校の花いっぱい運動と共に、自然を大切に心が育ってくれますように。

やはり食べ物は人気絶大！和菓子づくりは男子優勢で食べ盛りが集まりました。三角巾とマスク姿は一人前！中のアンコを栗あんで包んだ風情のある上品なお菓子です。出来上がりを美味しそうに頬張るスナップを撮る予定でいましたが、駆けつけた時は既にみんなお腹の中でした。残念！

大正琴と銭太鼓。リズム感豊かな現代っ子だけあって、2時間足らずのレッスンの後の本番披露では、見事な演奏を見せてくれました。正座する銭太鼓で



はシビレをがまんしながらガンバッテいましたよ。

どのグループも短時間で子ども達に興味を持たせ、一通り仕上げさせ、満足感を与えるのは並大抵ではありません。シルバーティチャー達の日頃の研鑽と経験が、分かりやすい指導となり成果をあげていることを実感しました。このような体験教室は、シルバー世代にとっても生きがいと励みになり、アピールするチャンスにもなります。先生役で参加された皆さま、本当にご苦労様でした。=写真は④大正琴 ⑤着付け ⑥⑦生け花と和菓子作り ⑧銭太鼓

(取材・写真 広報・徳原尚世、宮里寿子)